史伝

教材のねらい

1　選定の理由

ア　「十八史略」について

この単元のねらいを達成するために、「十八史略」が適切な教材であると考えられる理由は、次のようになろう。

(1) 漢文初学者が音読、現代語訳、内容読解をするのに、一話一話の分量が手ごろである。

(2) 基本句形の頻出、分かりやすいテーマと簡要にして的確な表現によって漢文訓読の基礎を確認しながら、応用力を養うことができる。

(3) 中国の歴史の要点を具体的に手際よく案配し収めてあるため、中国の歴史の大体が理解しやすい。

(4) 混乱した乱世を舞台に、登場する人物はそれぞれ躍動的・個性的・独創的で多彩を極めている。それら（個人）の生き方や考え方・創造性を学ぶことは、自分の生き方を主体的に考えたり確かめたり広げたり深めたりすることにつながる。

(5) テーマが分かりやすく登場人物が多種多彩で魅力的であるということは、「登場人物を紹介する」という言語活動に際し、人物選定がしやすく伝えたい魅力が発見しやすいと考えられる。また、自分の生き方も投影しやすいといえよう。

○「十八史略」の各教材について

ここに採った教材は、時代は異なるが、そこに活躍する人々（個人）の行動は生徒の興味をわき立たせ、それが漢文を読むことへの興味へとつながるものと思われる。

まず、戦国時代に生きる「説客」の心理や郭隗の弁舌や説得術の巧みさを描いた逸話、「先従隗始」を取り上げた。次に、戦国時代という下剋上の乱世に、巧みに鄙諺を用いて六国の君主を説得し各国を動かした遊説家・蘇秦の逸話、「鶏口牛後」を採録した。続いて、春秋時代という混乱の世にあっても、斉の桓公を五覇の一人にした名宰相・管仲と管仲の才能を認めて支え続けた鮑叔とが信頼し合う姿を描き出した故事、「管鮑之交」を取り上げた。最後に、春秋時代の南方の地、呉と楚、二国の君主の抗争を小説的に描いた逸話、「臥薪嘗胆」を取り上げた。これらはみなよく知られた逸話で、その内容展開のおもしろさや時代概観、漢文特有の力強い簡潔な表現・登場人物の人生観（人間観）などを十分に味わうことができる。そのため指導者には、語法（句形）にあまり深入りしない授業展開を望む。当然、何回も音読させ漢文の口調にも慣れさせてほしい。

イ「古典に関する文章」について

古典に関する文章については、史伝の読みを広げたり深めたりすることに寄与できるものという視点で考え、選択した。また、史伝の中に出てくる話と関連する内容のものが学習しやすいだろうとも考えた。そこで、「臥薪嘗胆」の話をもとにした「中国英傑伝」の一節が適切と考え採択した。史伝の登場人物が「中国英傑伝」では、どのように描かれているかを読むことによって、史伝の読みも広がり深まるにちがいない。

○「中国英傑伝」について

海音寺氏の「中国英傑伝」は、「臥薪嘗胆」の話をもとに、その話の中心人物、伍子胥の伯嚭に対する思いを丁寧に分かりやすく情感的に描いている。これによって、この「思い」がよく理解できよう。しかし、その「思い」は裏切られ、「臥薪嘗胆」教材にあるように、伍子胥は伯嚭に裏切られ、それによって夫差から自害を言い渡される。この残酷な人間模様が漢文には短い文で赤裸々に語られる。そこで「中国英傑伝」と「臥薪嘗胆」の二つを読むことによって、「臥薪嘗胆」教材の理解が深まることを期待したい。

「十八史略」教材の中から、魅力的な人物を探し出し、その人物の「魅力を紹介する」という言語活動は、「読むこと」に関する力を身に付け確かなものにすることにその目的がある。なので、この言語活動によって漢文教材の読解が広がるばかりか、自分のものの考え方などもさらに深まることになろう。

2　指導のねらい（漢文教材の学習すべき内容一覧表）

先従レ隗始

(1)　音読	(2)　学習すべき基本句形	(3)　歴史	(4)　内容読解	(5)　内容読解のためのキー・センテンス
範読・追い読み・黙読・一斉読み・円陣読み・一人読み・朗読	使役形 抑揚形 反語形	戦国時代の概略	(a)昭王のものの見方 (b)戦国時代に生きる「説客」の心理 (c)郭隗の弁舌の巧みさ	(a)誠得二賢士一与共レ国、以雪二先生之恥一、孤之願也。 (b)於レ是、昭王為レ隗改二築宮一、師二事之一。 (c)今王必欲レ致レ士、先従レ隗始。

鶏口牛後				
範読・追い読み・黙読・一斉読み・円陣読み・一人読み・朗読	使役形 比較形 選択形	「戦国の七雄」の概略 「合従連衡」策の概略	(a)「西向」の具体的な内容 (b)蘇秦の説得の巧みさ	(a)莫レ若二六国従親、以擯レ秦。 (b)寧為二鶏口一、無レ為牛後一。於是六国従合。
管鮑之交				
範読・追い読み・黙読・一斉読み・円陣読み・一人読み・朗読	受身形 使役形	春秋時代の概略	(a)管仲の三つの行動における鮑叔の評価とその理由 (b)管仲が鮑叔に、鮑叔が管仲に懐く心情のまとめと、管仲と鮑叔の人物像についての描き方。	(a)①嘗与鮑叔賈。…鮑叔不二以為レ貪。知二仲貧一也。 ②嘗謀レ事窮困。鮑叔不二以為レ愚。知二時有一レ利不利一也。 ③嘗三戦三走。鮑叔不二以為レ怯。知二仲有一レ老母一也。 (b)管仲→鮑叔＝生レ我者父母、知レ我者鮑子也。 鮑叔→管仲＝①…鮑叔不二以為レ貪。 ②…鮑叔不二以為レ愚。 ③…鮑叔不二以為レ怯。 ④桓公九二合諸侯一、一二匡天下一、皆仲之謀。

臥薪嘗胆

範読・追い読み・黙読・一斉読み・円陣読み・一人読み・朗読	使役形 疑問形	呉楚の興亡	(a)①夫差が「臥薪」、②句践が「嘗胆」するに至った経緯と、その結果 (b)夫差が句践に敗れた二つの理由

(a)①呉伐レ越。闔廬傷而死。…「夫差、而忘二越人之殺一レ父乎一邪。」…夫差敗二越于夫椒一。
②越王句践、以二余兵一棲二会稽山一、請二為レ臣妻為レ妾。…「女忘二会稽之恥一邪。」
(b)①太宰伯嚭受二越賂一、説二夫差一赦レ越。
②太宰嚭譖下子胥恥二謀不レ用怨望一上。夫差乃賜二子胥属鏤之剣一。

3 単元の目標

目標については、別表「単元の目標一覧」をご確認ください。

4 評価規準

学習指導要領との対応等	評価規準例	先従隗始	鶏口牛後	管鮑之交	臥薪嘗胆	中国英傑伝	単元の言語活動３
〔知識・技能〕							
(1)イ	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。			○			
(1)ウ	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。		○		○		
(2)イ	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。			○			
(2)ウ	古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。		○			○	○
(2)エ	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	○	○	○	○		
	時間の経過による言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。						
〔思考・判断・表現〕							
B(1)ア	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	○	○	○	○	○	○
B(1)イ	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	○		○	○	○	○
B(1)エ	「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。					○	

〔主体的に学習に取り組む態度〕						
進んで史伝の背景を理解し、史伝に描かれた登場人物の言動・心情・考え方や生き方を学ぼうとし、学習課題に沿って、登場人物の弁舌の巧みさについて話し合おうとしている。	○					
進んで史伝の背景を理解し、史伝に描かれた登場人物の言動・心情・考え方や生き方を学ぼうとし、学習課題に沿って、登場人物の説得の巧みさについて話し合おうとしている。		○				
進んで史伝の背景を理解し、史伝に描かれた登場人物の言動・心情・考え方や生き方を学ぼうとし、学習課題に沿って、登場人物の心情や人物の描かれ方を説明しようとしている。			○			
進んで史伝の背景を理解し、史伝に描かれた登場人物の言動・心情・考え方や生き方を学ぼうとし、学習課題に沿って、登場人物の敗因について話し合おうとしている。				○		
進んで史伝の背景を理解し、史伝に描かれた登場人物の言動・心情・考え方や生き方を学ぼうとし、学習課題に沿って、登場人物が他の登場人物にどのような思いを持っていたかまとめようとしている。					○	
進んで史伝の背景を理解し、史伝に描かれた登場人物の言動・心情・考え方や生き方を学ぼうとし、今までの学習を生かして、登場人物の紹介文を書こうとしている。						○

■言語活動例との関連（【　】は関連する指導要領の言語活動例）

先従隗始：登場人物の弁舌の巧みさについて話し合う【〔思・判・表〕B⑵イ】

鶏口牛後：登場人物の説得の巧みさについて話し合う。【〔思・判・表〕B⑵イ】

管鮑之交：登場人物の心情や人物の描かれ方を説明する。【〔思・判・表〕B⑵イ】

臥薪嘗胆：登場人物の敗因について話し合う。【〔思・判・表〕B⑵イ】

単元の言語活動３「登場人物の魅力を紹介する」：登場人物の紹介文を書く。【〔思・判・表〕B⑵イ】